國際經濟週報

新聞聯合社發行

491（No. 466）　昭和三年十二月廿九日發行　第九卷　第五十號　大正九年十月九日第三種郵便物認可

東京商工會議所 ★ 3.12.27 TOKYO CHAMBER OF COMMERCE LIBRARY

（本號所揭の電報は昭和三年十二月九日より十五日迄に發信のもの）

支那海關新稅率發表

日本關係の稅率は從來と略ぼ同樣

上　海　十二月十日（月）

我が總領事館が外交部より發した新稅率表及び通牒を突返した件に關し外交部及び財政部側では關稅自主の方針は支那の動かぬ主張であり、且つ各國とも皆右の通牒を受納したから日本一國が反對しても斷じて實行するつもりだといつてゐる。また新稅率表については元來日本も反對でなくただ手續上の問題である。且つ一方矢田、宋子文兩氏の交涉が依然繼續されてゐることでもあるから改めて通牒を送るつもりだと言つてゐる。

▲日本は從來同樣▼

上　海　十二月十日（月）

本日公表された明年二月一日より實施の新海關稅率に關して某當局は左の如く聯合記者に說明を加へた。

新稅率は現行稅率の五分に新に二分五厘より二割二分五厘までの七種の差等稅率を加へ、平均標準を一割二分五厘に置いて作られたものである。從つて稅率表に記載なき品物に對しては多分從價七分五厘を附加し、合計一割二分五厘を徵收する事となるであらう。從來日本などでは二分五厘乃至五分の附加稅即ち日本が抗議附で納付し來つた不當課稅たるワシントン率をも加へたものと解釋してゐる向もあるが、これは全然間違ひて新稅率はワシントン率の附加稅は加へてない。この點は特に注意すべきである。

次に厘金に代る抵代稅、所謂子口半稅の如きは現在の二分五厘通りを据置き決して新稅率の半分を課するものではない。此等の點は日本の當業者に重大な影響があるから特に說明して置く。尙ほ問題になつた新稅率の實施期日は品物の到着主義であつて積出主義ではない。英米側は積出主義を主張運動したが支那側は斷然到着主義實施に決してゐる。しかし日本品の大部分約三分の二は殆ど現行の所謂不當課稅を拂つて居り、新稅率と同一だから英米側がいふ程日本が見越し輸入をやつてうまい事をするといふ事もなからう。

主要品目新稅率

新稅率中主要品適用率を拔萃すると左の如くである。

▲紡織關係

一、左の品目は從價七分五厘、即ち現行と同率（現在は本稅五分、附加稅二分五厘）

イ、（生地物）シャーチング、シーチング、テイー・クロス、ドリル、ジーンズ（三或は四枚物に限る）、フランネル。

ロ、（白物）シャーチング、シーチング、テイー・クロス、ドリル、ジーンズ（同前）ニッテット・クロス。

ハ、（染物）シャーチング、シーチング、テイー・クロス、ドリル、ジーンズ（同前）

二、トウイル、サージ（白或は染物）、サテン・ドリル（五枚物）、フランネル（白染捺染又は色物）

二、左の品目は從價一割卽ち現行より二分五厘增加。

イ、ポプリン及びベネチアン（何れも白、染又は模樣物）

ロ、ベルベット及びベルベッチーン（何れも染模樣又は捺染物）

ハ、サテン、ラスチング、ポプリン、イタリアン、オートミル、クレープ（何れも捺染物）

三、左の品目は從價一割二分五厘、即ち現行より五分增加。

人絹製品、ウール、ウーレンプランケット及びラッグ。

五、左の品目には從價七分五厘、即ち現行通り。但し綿糸四十五番手以上は從價一割二分五厘を賦課す。

棉花、綿糸。

（以下現行は何れも從價五分）

▲海產物

鮮魚、鹽物、烏賊、乾車蝦及蝦、海草類

大鮑

鱶の鰭（未製品）

同　上（製品）

▲金物類

鐵力、厚薄鐵鋼板、アングル、バー、パイプ、チューブ、眞鍮類、鋼棒、銅線、銅索

鋏、スクリユー、釘。

▲砂　糖

（オランダ色相標本十號以上の白砂糖及精製糖）

角糖、塊糖、キヤンデー

▲紙　類

一般印刷用紙、すかし入エナメル塗及光澤付書簡紙並に畫紙

▲木　材

一般木林、枕木

▲石　炭

石炭、コークス

▲雜　貨

貝釦、磁器、眞鍮釦

金屬製釦其他上製釦

絹張り若くは半絹製洋傘にして柄の一部又は全體に貴金屬或は寶石類を配せる物

綿布張洋傘にして普通柄のもの

▲各製品及染料

酸　類

漂白粉

アニリン染料

家庭用石鹼及その製造材料

化粧用石鹼

藥品、雜貨類

▲贅澤品

柱時計、懷中時計（全部又は大部分プラチナ、金又は銀其他寶石をちりばめたるもの）

ウール製帽子、毛皮帽子

絹製帽子、フエルト帽子

ランプ及ランプ器物

樂　器

ペン、鉛筆

香水、コスメチック類

寫眞及活動寫眞製品

眼鏡類

▲其　他

電信電話材料

機械類

玩具、運動具

自轉車

粗製ゴム

ゴム製品

△穀物及メリケン粉は無稅とす。

▲諸問題一括解決を期す▼

南　京　十二月十日（月）

イギリス公使ランプソン氏との會見を終つた王正廷氏は早速國民政府首席蔣介石氏を訪ひ會見の內容につき報告すると共に今後の交涉進行に對する方針につき打合せをするところあつた。聞くところによれば關稅問題、就中明年二月より實行される事に決した新稅則はイギリスの方より口を切つて內諾を與へたもので、このイギリスの空氣を察知した支那側では一氣に條約及び治外法權問題に關する具体的交涉開始を要求し茲に今回の公表となつたものであると。而して支那側は原則としてあくまで諸問題の一括解決を期して交涉に當ることになつたといふ。

本號索引

每號同種目の下に連載するものは省略す

米國
百貨店の合同……四九二
ドーズ氏信託入り決定……四九二
大藏省證券應募超過……四九二
一大投資會社を組織……四九二
埃國戰債整理案可決……四九二
十一月中の輸出入額……四九三
同　金銀塊輸出入額……四九三
十月中の對歐輸出入額……四九三
十一月中の鋼塊生產高……四九六
同　精銅集散統計……四九六
十一月末製鋼註文殘高……四九六
十一月中の棉花集散統計……四九七
最近の綿製品市況……四九七
生糸受渡格差改正……四九八
二八年小麥收穫高……四九九
甜菜糖生產豫想……四九九
十一月中のゴム統計……五〇〇
同　ランボーン產糖豫想……四九九
玖馬
政府發表豫想……四九九
歐洲
亞鉛カルテル協定延長……四九六
對米戰時債務支拂……四九二
金解禁の產業影響……四九二
十一月中の銀塊輸出入額……四九三
同　商品輸出入額……四九三
同　鐵鋼生產高……四九六
同　對日鐵類輸出高……四九六
同　綿糸布輸出高……四九七
同　對日紡機輸出高……四九七
同　生糸絹織物輸入高……四九八
同　對日毛織物輸出高……四九八
同　砂糖消費高……四九九
同　傭船契約成立……五〇〇
英國
英支貿易前途……四九二
豫算案可決……四九二
獨逸
砂糖關稅引上……四九九
米獨船舶會社提携困難……五〇〇
佛國
帝國銀行利上……四九九
紡績罷業者の衝突……四九九
二八年糖生產高……五〇〇
十一月中の砂糖輸出高……五〇〇
十一月末の砂糖荷動統計……五〇〇
印度
關稅通牒再送致か……四九一
新關稅實施上の說明……四九一
主要品目新稅率……四九一
諸懸案一括解決を企圖……四九二
爪哇
日本紙幣排斥……四九二
滙業銀行休業……四九三
大連取引所三等大豆上場……四九九
東三省大豆收穫豫想……四九九
排日新傾向……五〇〇
英支貿易前途……五〇〇
支那
東京市債金フラン利拂事件……四九三
綿布のエヂプト進出……四九八
日本
國際生糸格付會議……四九八
世界

（每週一回土曜日發行・每號十頁）

A4
8

米國經濟界

○百貨店合同

將來は世界的に擴大

ニューヨーク　十二月十日（月）

過般來アメリカで小賣專門の百貨店二十二が一大合同をなすべく商議中のところ、今回遂にこれが成立を告げたといふことである。右は約十億ドルの資本を擁し、ニユージャーシー州のハーン商店がこれを管理する筈である。而して將來はこれを世界的に擴大する計畫らしい。

○ドーズ氏

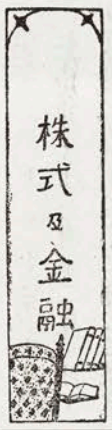
信託會社々長就任に決定

シカゴ　十二月十四日（金）

現副大統領ドーズ將軍は來年三月四日の任期滿了と共に今回セントラル信託會社（Central Trust Co.）とアメリカ銀行（Bank of America）と合同して出來た新會社の會長になることになつてゐる右合同會社の資產總額は一億六千萬ドルに上り、名稱はセントラル信託會社を受繼ぐことになつてゐる。なほドーズ將軍とセントラル信託會社とは從來非常に密接な關係があつたのである。

（備考）アメリカ銀行及びセントラル信託會社なる名稱を有するものはニューヨーク、シカゴその他にもあるが、今回合併したのはシカゴの會社と思はれる。シカゴの會社の資本金は左の通りである。

アメリカ銀行　二、五〇〇、〇〇〇ドル
セントラル信託會社　六、〇〇〇、〇〇〇



イギリスの對米戰債支拂

ロンドン　十二月十四日（金）

イギリス政府は今回アメリカへ對し戰時債務償還額として九千四百二十萬ドルを支拂つた。その內譯は左の通りである。（單位千ドル）

	整理協定以來累計	
元金償還	一四七、〇〇〇	二七、〇〇〇
利子	八一七、三六〇	六七、二〇〇
合計	九六四、三六〇	九四、二〇〇

これにてイギリスのアメリカに對する戰時債務は四十四萬五千三百萬ドルに減少した。

○オーストリヤ戰債整理案可決

ワシントン　十二月十一日（火）

オーストリヤの債務整理協定を規定するバートン法案は本日百四十對二十六票の差を以てアメリカ下院を通過した。

【備考】バートン法案の主旨はオーストリヤをしてそのアメリカに對する債務三千五百萬ドルを二十ケ年若くは四十ケ年內に任意返却せしめるといふにある。

佛國豫算案

パリー　十二月十四日（金）

フランス下院は本日百二〇票對百六〇票の多數を以て一九二九年度豫算案を可決した。その豫算總額は左の通りである。

歲入	四五、四二五、〇〇〇千フラン
歲出	四五、三六九、〇〇〇
歲入超過	四六、〇〇〇

（備考）過去のフランス豫算額は左の通りである。（單位百萬フラン）

歲入	三三、一三五	歲出 三三、一三七
一九二五年	三七、四九九	三七、三六
二六年	三九、九六〇	三九、三六二
二七年	四二、一六一	四一、三五六
二八年	四五、四二五	四五、三六九
二九年		

○金解禁により蒙る債務支拂上の影響

マンチエスター　十二月十五日（土）

有名なる紡績業者にして下院議員なるハマースレー氏は本日『國家の繁榮並にイギリス產業に對する金解禁の影響』と題して一場の演說を試みたが大要左の如く述べてゐる。

『大所高所より見るに金本位復歸は賢明にして妥當なる處置であつた。しかし金輸出解禁によつて蒙る影響は各產業により決して一樣でない。而して解禁以前の價値低き金をもつて產業資金の融通を受けたものは今や價値の高い金を以て支拂はねばならぬからその點を何とか整理する必要がある。然しこの整理は當事者間の承諾によつて行はるべきもので、決して法規を以て强制すべきものではない』。

○日本紙幣排斥

天津　十二月十五日（土）

天津反日會は本日秘密會議を開き總商會、各團體、一般市民に對し正金朝鮮兩銀行發行紙幣の使用を禁じ若し之れに違反するものは嚴罰に處する旨布告した。これは兩銀行の紙幣發行額が他の諸銀行のそれよりも巨額で日本の經濟侵略を意味するものだから徹底的にこの金圓を排斥すべしとの意圖からでてたものである。

紐育株式市況

ニューヨーク　十二月十五日（土）

前週の大慘落の後を承けて市場は變動が極めて激しかつたが然し概して一般に上向き步調であつたこれはコール・マネーが前週末の一割二分から漸次引弛んで來た爲めである。週初め第二次反動が來るかも知れぬとの不安から市場は非常に神經過敏の態であつたが週末に至り資金の需要一服につれコール・マネーが六分に低下したので市場の氣配は良くなつた。これを眺めてかねて賣り逃げの機會を覗つてゐた當業者は一齊に手仕舞物を出した。その爲め相場の反撥氣勢は挫かれた。然し一方に於て新規買物や空賣りの買埋めが現はれて相場の下落を防いだ。尙ほ今週も人氣株の亂高下が目立つて居たが然し一部の株式、殊に銅株には盛に買物が注がれた。これはアナコンダ其他の銅山會社の增配の噂がある爲めである。又鐵道株も週末には頗る活況となつた。

證券市場は閑散であつた。南アメリカ諸國の公債は落付かない。これはボリヴィアとパラグエーの國交不穩の報道がある爲めである

○大藏省證券應募超過

ワシントン　十二月十三日（木）

アメリカ政府發行の四分二厘五毛利附大藏省證券五億ドルは應募超過となつた。

【備考】右は十二月十五日期限の大藏省證券償還のため發行せるもので右の內二億ドルは期限六ケ月、三億ドルは一ケ年であるが

今回の利率が十月發行分（四分五厘七五毛利附三億ドル）に比し五分方安いのは注意を要する。

○大投資會社組織

ニューヨーク　十二月十四日（金）

今回ニューヨークで一大投資會社が組織された旨正式發表があつた。右は投資會社と持株會社とを兼ねたもので名稱はスタンダード・インダストリーズ・インコーポレーテッド（Standard Industries Inc.）その資本金は一億ドルでその內七千萬ドルは公募することになつてゐる。而して廣く使用される登錄商品若くは標準品の生產並に分配を行つてゐる諸會社に投資せんとするものらしい。尙同會社の重役の顏觸れをみるに英米煙草の副重役會長、カナダ生命保險會社々長その他著名の銀行家及び金物業者數名である。

倫敦株式市況

ロンドン　十二月十三日（木）

今週のロンドン株市式場の人氣は依然引續き振はない。これは主として皇帝の御容體が案ぜられるのと、ニューヨーク株式相場が亂高下を演じてゐるためである。尤も週末には氣配は幾分見直し步調である。

優等證券類は初め鈍狀であつたが、その後極めて聢りになつた。この原因は最近イングランド銀行から引續き金流出あるに拘らず再び投資目的の買ひ註文が擡頭して來たことにある。インド公債は十三日のインド帝銀利上げ（六分より七分）も無影響で落付を呈してゐる。『大所高所より見るに金本位復歸は賢明にして妥當なる處置であつた。しかし金輸出解禁によつて蒙る影響は各產業により決して一樣でない。而して解禁以前の價値低

倫敦金融市況

ロンドン　十二月十三日（木）

十二日から十三日午前にかけて資金の供給は少しく減退したが、午後には再び潤澤となつてゐる。手形の割引市場は聢りである。

○英蘭銀行週報

ロンドン　十二月十三日（木）

△十一月十三日現在（單位千ポント）

	昨年同期	一昨年同期
公金預金	七、六〇〇	八、七二一
其他預金	一〇三、一〇〇	一〇一、八四三
政府證券	五九、一〇〇	四一、三〇九
其他證券	二六、二〇〇	五四、七四四
紙幣及金銀貨	四二、四〇〇	三一、一四〇
金銀地金在高	一六三、四〇〇	一四九、九〇九
預金準備割合	三七%九〇	二九%三一
英蘭銀行券流通高	三七四、八〇〇	△四三四、二七四

△印は英蘭銀行券流通高と政府紙幣流通高を合計したるもの

△最近數週統計（單位十萬ポント）

十二月廿九日	諸預金	諸證券	準備金	金銀地金	銀行券流通高
	一三、一	八六、〇	五二、八	一六五、一	三六七、〇
十二月六日	一三、六	九四、四	四七、一	一六三、八	三七、五
十三日	一二、七	八七、三	四二、四	一六二、四	三七四、八

○インド帝銀利上

ボンベイ　十二月十三日（木）

インド帝國銀行は公定割引步合を六分より七分に引上げた。

（備考）インド帝國銀行過去一ケ年間の利率變動は左の通りである。

昨年十二月八日	六分
十二月廿二日	七分
本年六月廿一日	六分
七月十九日	五分
十一月十五日	六分
十二月十三日	七分

△ロンドン公社債相場

（日本公社債、額面百ポンドに付）

	利率	十二月十日	十三日
英貨六分利公債	六步	九六磅四分一	九六磅四分一
第三回英貨公債	四	六六磅二分一	六六磅二分一
東京市事業公債	五	九三磅二分一	九三磅二分一
同電氣事業公債	五	八三磅	八三磅
大阪電鐵水道同	五	八六磅二分一	八六磅二分一
第十三回興銀社債	五	九一磅二分一	九一磅二分一
第四回講銀社債	四半	八六磅	八六磅
第十九回同	五	八七磅二分一	八七磅二分一
東京電燈新社債	六	九六磅二分一	九六磅二分一
東京市新英貨公債	五半	九三磅	九三磅

○日支合辦
滙業銀行休業
日本資本排除を策謀

天津　十二月十日〔月〕

反日會の捏造宣傳の影響を受けて滙業銀行は昨夜天津で開かれた日支重役會議の結果整理のため本支店共本日から向ふ一ヶ月間休業する事となつた。支那側重役は王蔭泰氏等を以て改組委員會なるものを組織し、北平政治分會、衞戍總指令部、河北省、北平市兩政府及び兩黨務指導委員會に對し休業の理由を報告し援助を乞うた。滙業銀行が休業の已むなきに至つた原因は反日會の執拗な妨害運動效を奏し預金の引出し案外に巨額に上つた爲めであるが更に王蔭泰以下支那側重役がこの期を利用して日本側資金を排除して純然たる支那銀行とし、彼等の政治的境遇の轉換を圖らんとする策動も與つて力がある。

支那側重役の右策動の理由としては濟南事件以來再三の取付けに際し支那銀行は援助したが日本銀行は全く傍觀的態度を持した事、日支關係日に惡く依然日支合辦組織を續けるに於ては今後同樣の取付騷ぎ續出すること並に資本は日支同額だが預金者の九割までは支那人で支那人の影響重大だから愛國的見地からも日本資本は排除して支那人預金者の利益を圖らねばならぬ事を擧げて居る。

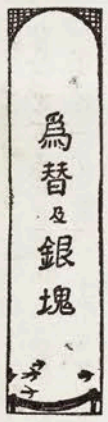
北平　十二月十一日〔火〕

滙業銀行休業の當地銀行界に及ぼした影響は豫想以上に甚大て各所に取付け騷ぎを演じ中國、中南其他二三を除く外の支那銀行發行紙幣は本日から全部取引中止となつた。

○東京市債
金フラン利拂事件
東京市側又復敗訴

パリー　十二月十四日〔金〕

一九一二年發行の五分利附東京市債を所有するフランス人より東京市を相手取り右債務の償還並に利拂ひをフラン相場によらずして金フランにてなすべしとの訴訟が提起され去る二月八日オート●ソン地方裁判所は被告東京市側に不利な判決をなしたが十四日のプチ●パリジャン紙の報ずる所によれば事件は十三日ベサンソン控訴院がオート●ソン地方裁判所の判決を承認するに至つた爲め再び東京市側の敗訴となつた。因に問題の債務は東京市が一九一二年電氣事業擴張資金として外債を募つたものゝ內フランスに於ける右の額は一億八十八萬フランであつたが漸次償還して現在では八千五百萬フランになつてゐる。然るにフラン相場の下落により發行當時の金フランと非常な差を來たすに至つた結果去る大正十五年以來三回に亘つてフランス人側よりこれが訴訟を提起され今日に至るまで繫爭を續け來つてゐるものである。



英國爲替市況

ロンドン　十二月十三日〔木〕

今週米英爲替の動きは極めて少なかつた。スペインのペセタ爲替には可成りの買氣があつたが、これ以外のヨーロッパ大陸爲替は引續き無材料でその動きも概して小幅である。支那爲替は鈍狀、日本爲替は初め引弛みを見せたが目下底堅となつた。

○英蘭銀行金移動週報
ロンドン　十二月十三日〔木〕

△十二月十二日迄（單位千ポンド）

	今週	解禁以來
受入高	—	九六、一〇六
引出高	一、二七九	九九、五三九
差引純流入	—	—
純流出	一、二七九	三、四三三

△最近數週統計

	受入高	引出高	純流入	純流出
十一月廿八日	—	二、二六〇	—	二、二六〇
十二月五日	三七	一、六二三	—	一、二五五
十二日	—	一、一七九	—	一、一七九

倫敦銀塊市況

ロンドン　十二月十三日〔木〕

今週の市況に關し著名の銀塊仲買商は左の如く報じてゐる。

▲サミユル●モンタギユー商會　今週市場は少しく活況を呈した。これは主として期限到來の約定に對する手當の商內があつたためである。なほ最近の安値は支那並にバザー筋から買物を誘發してゐるその結果市場の氣配は落付きとなり相場も少しく引戻して來た。アメリカは餘り進んで賣らうとしない。アメリカ思惑筋も引續き氣乘薄の態であるが、安値になれば買つてもいゝといふ風も見える。

▲モーカツタ●ゴールドスミツド商會　今週は某支那思惑筋が殆ど連日賣物を出した。そのためインドからの多量の買ひ註文も相場を引立てるに至らず只十一日（火）に小戻しを見せたのみである。本日はインド筋も賣り方に轉じ、支那筋と共によく賣つた。アメリカは少量ながら賣りもし買ひもした。

米國十一月の輸出入額
ワシントン　十二月十五日〔土〕

アメリカ商務省發表、十一月中のアメリカ輸出入額は左の如くである。

（單位千ドル）

	本年累計	昨年同期
輸入	三七、〇〇〇	三、七五四、六三九
輸出	五四六、〇〇〇	三、八五三、四五八
出超	二九、〇〇〇	四、四五六、九三六
	九一五、四六〇	六〇三、四七八

〔備考〕

	輸入	輸出
昨年十一月	三四四、二六九	四六〇、九四〇
十二月	三三一、二三四	四〇七、六四一
本年一月	三三七、九四九	四一〇、七九九
二月	三五一、〇三三	四七一、四七七
三月	三八〇、四二八	四一〇、六八九
四月	三四五、二九九	三六四、一四四
五月	三五五、〇〇〇	四三三、〇〇〇
六月	三七一、〇〇〇	三九〇、〇〇〇
七月	三六二、〇〇〇	三八二、〇〇〇
八月	三四七、〇〇〇	三八一、〇〇〇
九月	三三一、〇〇〇	四三一、〇〇〇
十月	三三七、〇〇〇	五五七、〇〇〇
十一月	三三七、〇〇〇	五四六、〇〇〇

○十一月中のアメリカ 金銀塊輸出入額
ワシントン　十二月十五日〔土〕

アメリカ商務省發表、十一月中のアメリカ金銀塊輸出入額は左の如くである。

（單位千ドル）

		本年累計	昨年同期
金塊	輸入	二九、五九一	一四五、二七
	輸出	二三、九一五	五五九、二二
銀塊	輸入	五、四四七	一九七、一〇四
	輸出	六〇、九二三	一三三、六〇六
金塊	輸入	五、二六六	五、一〇二
	輸出	二〇、〇〇一	九九、九三三
銀塊	輸入	一二、五三一	七四、一九〇
	輸出	二、四四五	一、六九八

〔備考〕

	金塊 輸入	金塊 輸出	銀塊 輸入	銀塊 輸出
昨年十一月	二、〇八三	五、二六六	五、一〇二	五、六二四
本年六月	二〇、〇〇一	九九、九三三	六、二〇六	七、四二一
七月	一二、五三一	七四、一九〇	六、五六〇	六、一六〇
八月	二、四四五	一、六九八	六、四九六	六、二四六
九月	四、二七三	三、八一〇	四、九一六	六、二二九
十月	一四、三一〇	九九〇	七、三一〇	七、二八六
十一月	二九、五九一	二三、九一五	五、四四七	七、六二四

○十月中のアメリカ 對歐輸出入額
ワシントン　十二月十日〔月〕

アメリカ商務省發表、十月中のアメリカ對歐輸出入額は左の如くである。

（單位千ドル）

	一月以降累計	昨年同期
輸入	一三一、〇〇〇	一、〇三〇、七九九
輸出	二六九、〇〇〇	一、八五九、六九〇
△內對英貿易		
輸入	三三、〇〇〇	二九五、一五九
輸出	九八、〇〇〇	六四六、三一六

〔備考〕總計

	輸入	輸出	內對英 輸入	內對英 輸出
昨年十月	一三三、四〇五	二五四、四九一	三三、〇四四	八八、九八九
本年五月	一〇四、〇〇〇	一八八、〇〇〇	三五、〇〇〇	六一、〇〇〇
六月	九六、〇〇〇	一六一、〇〇〇	二八、〇〇〇	五二、〇〇〇
七月	九六、〇〇〇	一五三、〇〇〇	二八、〇〇〇	五二、〇〇〇
八月	一〇八、〇〇〇	一四九、〇〇〇	二八、〇〇〇	五二、〇〇〇
九月	一〇五、〇〇〇	一九三、〇〇〇	二八、〇〇〇	五九、〇〇〇
十月	一三一、〇〇〇	二六九、〇〇〇	三三、〇〇〇	九八、〇〇〇

○十一月中銀塊輸出入額
ロンドン　十二月十二日〔水〕

イギリス商務省發表、十一月中のイギリス銀塊輸出入額は左の如くである。

（單位千オンス）

△輸入

	本年累計	昨年同期
粗銀	一、八四七、九四三	一、八一八、八
精銀	四、三三三	五五、三七五
內アメリカ	九八九	二三、八二七

△輸出

精銀	一〇、一四四	六三、四八六
內支那へ	五、八八一	一六、三八五
インドへ	一、五七八	三一、三五六

	五八、一三〇	
	一、一二四	
	四一、一三四	

○英國金銀塊輸出入額
ロンドン　十二月十四日〔金〕

▲十二月十二日迄一週間（單位千ポンド）

△輸出

金塊	六八二（ドイツへ）	六五一（一四）
	（オーストリヤへ）	
銀塊	二　內オーストリヤより	八

△輸入

金塊	七九四　內アフリカより	七九三
	三三（內アメリカより	三三
銀塊	（ドイツより	二

▲本年一月以降金輸出入額累計

	昨年同期	一月以降累計
輸入	三七、五八二	四五、一六七
輸出	二七、三九二	四二、七六五

○ロンドン正貨積出高
ロンドン　十二月十四日〔金〕

△汽船 Kashger 號積

總計 一七〇、五〇〇ポンド

ボンベイへ	銀貨	四、一〇〇
コロンボへ	同	一、五〇〇
上海へ	同	一三七、五〇〇
內上海或は香港へ		四八、八〇〇
シンガポールへ	金貨	三七、四〇〇
內パタヴィアへ		四、四〇〇
スラバヤへ		一、二〇〇

△汽船 Mooltan 號積

總計 二七七、八〇〇

ボンベイへ	銀貨	二三四、四〇〇
上海又は香港へ	同	五、〇〇〇
シブラルタルへ	金貨	三、〇〇〇
ボンベイへ	同	三五、四〇〇
內マドラスへ		五、八〇〇
カルカツタへ		五、〇〇〇

內アメリカ	二、六二〇	五、七三
インド	一、八七九	二、四二八

△最近數週金統計

	輸入	輸出	內對米	對印
十一月廿八日	—	一、三〇七	—	四五
十二月五日	四二〇	一、一九四	—	—
十二日	七九四	六八一	—	—

○英國十一月中輸出入額
ロンドン　十二月十二日〔水〕

イギリス商務省は十一月中のイギリス輸出入額を左の通り發表した。

（金銀塊正貨を除く、單位千ポンド）

	一月以降累計	昨年同期
輸入	一〇六、八五六	一〇九五、六七六
輸出	七四、七〇〇	七七四、三〇五
內譯英國品	六三、七六七	七六三、〇三三
再輸出	一〇、八三三	—
入超	三二、二五六	三二、三七一

〔備考〕

	輸入	輸出
昨年十一月	一〇七、四一八	八一、一六六
本年六月	九九、三六九	七〇、九四三
七月	九五、三六八	六九、三八五
八月	九七、七〇一	七〇、九三二
九月	八七、八六二	六三、四七六
十月	一〇二、四五五	七三、一〇一
十一月	一〇六、八五六	七四、七〇〇

（昭和三年十二月九日—十五日發信）

（昭和三年十二月九日——十五日發信）

株式相場

十二月	紐育						大阪					
	スチール株（百弗）	アナコンダ株（五十弗）	ゼネラル・モータース（廿五弗）	紐育セントラル（百弗）	諸株出來高		鐘紡 當限	鐘紡 先限	紡績 當限	紡績 先限	大株 當限	大株 先限
十 日(月)	一五三・八分三	九九・八分三	一九〇・二分一	一八二	五〇〇	萬株	二七四・七〇	二六七・七〇	一三五・〇〇	一三三・九〇	九八・六〇	九九・四〇
十一日(火)	一五五・八分五	一〇二・四分三	一九二・二分一	一八三	四〇〇		二七五・二〇	二六八・七〇	一三五・二〇	一三三・八〇	九八・七〇	九九・四〇
十二日(水)	一五四・四分一	一〇九・四分三	一八七・四分三	一八〇・二分一	三五〇		二七四・三〇	二六七・五〇	一三四・〇〇	一三三・〇〇	九八・三〇	九八・七〇
十三日(木)	一五二・四分三	一〇六・八分五	一八六・四分三	一八一	三〇〇		二七四・五〇	二六七・八〇	一三四・二〇	一三三・五〇	九八・一〇	九八・九〇
十四日(金)	一五二・二分一	一〇六	一八三・八分七	一八四・四分三	三〇〇		二七四・六〇	二六七・二〇	一三三・一〇	一三二・五〇	九七・二〇	九八・一〇
十五日(土)	一五一・四分三	一〇五・四分三	一八四	一八四・四分三	一二五		二七三・五〇	二六六・六〇	一三二・九〇	一三二・二〇	九八・四〇	九八・八〇

十二月	郵船 當限	郵船 先限	大株新 當限	大株新 先限	英國銀（百トラス鎊） 買	英國銀 賣	金業交易所引値	外國銀（一オンス） 紐育	銀塊現物 倫敦	同先物 倫敦	銀塊現物 孟買	同先物 孟買
	円	円	円	円								
十 日(月)	六七・六〇	六七・四〇	八八・一〇	九〇・四〇	五九・〇五	五九・〇五	三五六・二	五六・八分七	二六・四分一	二六・四分一	五六・八分七	五六・八分七
十一日(火)			八七・七〇	九〇・四〇	五九・〇七	五九・〇七	三五五・五	五七・四分一	二六・十六分五	二六・十六分五	五七・四分一	五七・四分一
十二日(水)			八七・〇〇	九〇・四〇	五九・〇九	五九・〇九	三五五・九	五七	二六・十六分七	二六・十六分七	五七	五七
十三日(木)			八七・一〇	九〇・二〇	五九・〇七	五九・〇七	三五六・二	五七・四分一	二六・十六分三	二六・十六分三	五七・四分一	五七・四分一
十四日(金)	六七・〇〇	六七・四〇	八七・一〇	九〇・二〇	五九・〇五	五九・〇五	三五六・八	五七・八分一	二六・四分一	二六・八分三	五七・八分一	五七・八分一
十五日(土)			八六・七〇	九〇・二〇			三五六・二					

十二月	上海金塊	横濱替 倫敦 一倍	横濱替 紐育 百弗	横濱替 巴里 百圓	横濱替 孟買 百圓	横濱替 上海 百弗	横濱替 香港 百弗	横濱替 日本 百弗	横濱替 倫敦 一倍	横濱替 倫敦 一弗	横濱替 倫敦 一磅	横濱替 倫敦 一兩	横濱替 倫敦 一弗	横濱替 倫敦 一弗	横濱替 倫敦 一磅	横濱替 倫敦 一兩	横濱替 倫敦 一磅	横濱替 倫敦 一磅
	三五六・二	一・一〇・一〇	一・一〇・一〇	一二四・四分三	七一・二分一	四・世二分十三	四・八分三	四・世二分十一	七一・二分一	七一・二分一	二六・十六分十一	二六・八分三	四・世二分十一	四・世二分十一	二六・十六分十一	二六・八分三	二六・十六分十一	二六・十六分十一
十 日(月)	三五六・八	一・一〇・〇四分三	一・一〇・〇四分三	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十一	四・八分三	四・世二分十一	七一・二分一	七一・二分一	二六・十六分十一	二六・八分三	四・世二分十一	四・世二分十一	二六・十六分十一	二六・八分三	二六・十六分十一	二六・十六分十一
十一日(火)	三五五・五	一・一〇・〇四分三	一・一〇・〇四分三	一二五・二分一	七一・二分一	四・世二分十一	四・八分三	四・世二分十一	七一・二分一	七一・二分一	二六・十六分十一	二六・八分三	四・世二分十一	四・世二分十一	二六・十六分十一	二六・八分三	二六・十六分十一	二六・十六分十一
十二日(水)	三五六・〇	一・一〇・八分五	一・一〇・八分五	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十一	四・八分三	四・世二分十一	七一・二分一	七一・二分一	二六・十六分十一	二六・八分三	四・世二分十一	四・世二分十一	二六・十六分十一	二六・八分三	二六・十六分十一	二六・十六分十一
十三日(木)	三五六・二	一・一〇・八分五	一・一〇・八分五	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十一	四・八分三	四・世二分十一	七一・二分一	七一・二分一	二六・十六分十一	二六・八分三	四・世二分十一	四・世二分十一	二六・十六分十一	二六・八分三	二六・十六分十一	二六・十六分十一
十四日(金)	三五六・八	一・一〇・八分五	一・一〇・八分五	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十一	四・八分三	四・世二分十一	七一・二分一	七一・二分一	二六・十六分十一	二六・八分三	四・世二分十一	四・世二分十一	二六・十六分十一	二六・八分三	二六・十六分十一	二六・十六分十一
十五日(土)	三五六・二	一・一〇・十六分十一	一・一〇・十六分十一	一二四・四分三	七一・二分一	四・世二分十一	四・八分三	四・世二分十一	七一・二分一	七一・二分一	二六・十六分十一	二六・八分三	四・世二分十一	四・世二分十一	二六・十六分十一	二六・八分三	二六・十六分十一	二六・十六分十一

利金

	紐育				倫敦			
	コールマネー		三ケ月拂手形割引率		コンソル公債	軍事公債	日本五分利附英貨	
十 日(月)	九	參	四・世二分十一	參	五五・八分七	一〇二	八五	倫
十一日(火)	八		四・世二分十一		五六	一〇二	八五	敦
十二日(水)	八		四・世二分十一		五六	一〇二	八五	
十三日(木)	八		四・八分三		五六	一〇二・八分一	八五	
十四日(金)	七		四・世二分十三		五六	一〇二	八五	
休			四・世二分十三		—	—	—	

公社債相場

十二月	紐育							倫敦						
	日本六分利附英貨（百弗）	同第二回四分利（五百金法）（百弗）	同四分利（裏書廿磅）（百弗）	東京市五分半利（百弗）	橫濱市六分利（百弗）	東拓三分半利回六分利（百弗）	東電新力五分利（百弗）	大同電力五分利（百弗）	東邦電力五分利（百弗）	コンソル公債	軍事公債	日本五分利附英貨	日本六分利附英貨	日本四分利附英貨
十 日(月)	一〇一	九一・四分一	八八	九五・八分五	九七	九〇・八分三	九〇・八分五	九九	九〇・八分五	五五・八分七	一〇二	八五	八五	七五
十一日(火)	一〇〇・四分三	九二	六七	八八・四分一	九五・四分一	九六・八分三	九〇・八分三	九九	九〇・八分三	五五・四分三	一〇二	八五	八五	七五
十二日(水)	一〇〇	九一・八分五	六七	—	九五・四分一	九六・四分三	九〇・八分五	九八・二分一	九〇・八分五	五五・四分三	一〇二	八五	八五	七五
十三日(木)	一〇〇・八分三	九一・二分一	六七	八八・八分三	九五・四分一	九六・四分三	九〇・二分一	—	九〇・二分一	五五・四分三	一〇二	八五	八五	七五
十四日(金)	一〇〇・四分一	九一・四分一	六七	八八・八分一	九五・四分一	九六・四分三	九〇・二分一	九八・二分一	九〇・二分一	五五・四分三	一〇二	八五	八五	七五
十五日(土)	一〇〇・八分一	九一・二分一	—	八八・四分一	—	九七	九〇・八分五	九八・二分一	九〇・八分五	五五・四分三	一〇二	八五	八五	七五

金銀塊相場

十二月	倫敦 銀塊現物（一オンス建）	倫敦 同先物（一オンス建）	紐育 外國銀（一オンス）	孟買 銀塊現物	孟買 同先物	上海金塊	金業交易所引値
十 日(月)	二六・四分一	二六・四分一	五六・八分七	五五・〇五	五五・〇五	三五六・八	三五六・二
十一日(火)	二六・十六分五	二六・十六分七	五七・四分一	五九・〇七	五九・〇七	三五五・五	三五六・二
十二日(水)	二六・十六分三	二六・十六分五	五七	五九・〇九	五九・〇九	三五六・九	三五六・二
十三日(木)	二六・十六分三	二六・八分三	五七・四分一	五九・〇七	五九・〇七	三五六・二	三五六・二
十四日(金)	二六・四分一	二六・八分三	五七・八分一	五九・〇五	五九・〇五	三五六・八	三五六・二
十五日(土)	二六・四分一	二六・八分三				三五六・二	

横濱爲替

十二月	倫敦 紐育 一圓	倫敦 巴里 一圓	倫敦 孟買 百圓	上海 百円 參着賣	倫敦 紐育 百圓	倫敦 巴里 百圓	倫敦 孟買 百圓	上海 百円 參着賣
	一・一〇・〇四分三	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十一	一・一〇・〇四分三	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十一
十 日(月)	一・一〇・〇四分三	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十一	一・一〇・〇四分三	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十一
十一日(火)	一・一〇・〇四分三	一二五・二分一	七一・二分一	四・世二分十一	一・一〇・〇四分三	一二五・二分一	七一・二分一	四・世二分十一
十二日(水)	一・一〇・八分五	一二四・二分一	七一・二分一	四・八分三	一・一〇・八分五	一二四・二分一	七一・二分一	四・八分三
十三日(木)	一・一〇・八分五	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十三	一・一〇・八分五	一二四・二分一	七一・二分一	四・世二分十三
十四日(金)	一・一〇・八分五	一二四・四分三	七一・二分一	四・世二分十三	一・一〇・八分五	一二四・四分三	七一・二分一	四・世二分十三
十五日(土)	一・一〇・十六分十一	一二五・四分七	七一・二分一	四・世二分十三	一・一〇・十六分十一	一二五・四分七	七一・二分一	四・世二分十三

外國爲替相場

十二月	紐育 倫敦 一磅	紐育 日本 百弗	紐育 上海 百弗	紐育 香港 百弗	紐育 佛國 百圓	紐育 和蘭 一盾	紐育 獨逸 一金馬克	紐育 伊國 一リラ	紐育 瑞西 一法	倫敦 米國 一磅	倫敦 上海 一兩	倫敦 孟買 一留比	倫敦 橫濱 一圓	倫敦 香港 一弗	倫敦 新嘉坡 一弗	倫敦 紐育 一弗	倫敦 日本 一弗	倫敦 伯林 金馬克	倫敦 アムステルダム 一盾	倫敦 マトリツド 一ペセタ	倫敦 ミラン 一リラ	倫敦 ベルン 一法
	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四五・八分七	六三・八分五	二三・八三	一二四・一八・二分	二〇・三五・四分三	四・八五・世二分三	二・七・十六分十一	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十三	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十三	二・七・十六分十一	二〇・三五・四分三	一二四・一八・二分	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一八・二分
十 日(月)	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四五・八分七	六三・八分五	二三・八三	一二四・一五・二分	二〇・三五・八分五	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十一日(火)	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四五・八分七	六三・八分五	二三・八三	一二四・一五・二分	二〇・三五・八分五	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十二日(水)	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四五・八分七	六三・八分五	二三・八三	一二四・一五・二分	二〇・三五・八分五	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十三日(木)	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四五・八分七	六三・八分五	二三・八三	一二四・一五・二分	二〇・三五・八分五	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十四日(金)	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四五・八分七	六三・八分五	二三・八三	一二四・一五・二分	二〇・三五・八分五	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十五日(土)	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四・八五・十六分一	四五・八分七	六三・八分五	二三・八三	一二四・一五・二分	二〇・三五・八分五	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六

歐大陸「倫敦向」爲替（一磅ニ付）

十二月	巴里（普通）	伯林	アムステルダム	マトリツド	ミラン	ベルン
	一二四・一八・二分	二〇・三五・四分三	一二・七・八分五	三四・八九・八分	—	九二・六三
十 日(月)	一二四・一五・二分	二〇・三五・八分五	一二・七・四分三	三四・八九	三〇・〇三	九二・六三
十一日(火)	一二四・一六	二〇・三五・二分一	一二・七・四分三	三四・八八・八分七	二九・九七	九二・六四
十二日(水)	一二四・一五・二分	二〇・三五・二分一	一二・八	三四・八八・八分七	二九・九四	九二・六四
十三日(木)	一二四・一五	二〇・三五・八分三	一二・八	三四・八八・四分	—	九二・六三
十四日(金)	一二四・一六	二〇・三五・八分三	一二・八四	三四・八八・四分	二九・八五	九二・六四
十五日(土)		二〇・三五・八分三	一二・九	三四・八八・四分	二九・八五	九二・六四

電信爲替銀行賣

十二月	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 紐育（百弗）	倫敦 日本（百弗）	倫敦 上海（一兩）	倫敦 孟買（一留比）	倫敦 橫濱（一圓）	倫敦 香港（一弗）	倫敦 新嘉坡（一弗）	倫敦 紐育（一弗）	倫敦 日本（百弗）	倫敦 日本（百弗）	倫敦 上海（一兩）	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 上海（一兩）	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 日本 紐育（百弗）	倫敦 日本 紐育（百弗）
	四・八五・十六分一	四五・八分七	四五・八分七	二・七・十六分十一	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十三	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十三	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十 日(月)	四・八五・十六分一	四五・八分七	四五・八分七	二・七・十六分十一	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十三	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十三	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十一日(火)	四・八五・十六分一	四五・八分七	四五・八分七	二・七・十六分十一	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十三	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十三	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十二日(水)	四・八五・十六分一	四五・八分七	四五・八分七	二・七・十六分十一	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十三	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十三	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十三日(木)	四・八五・十六分一	四五・八分七	四五・八分七	二・七・十六分十一	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十三	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十三	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十四日(金)	四・八五・十六分一	四五・八分七	四五・八分七	二・七・十六分十一	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十三	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十三	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六
十五日(土)	四・八五・十六分一	四五・八分七	四五・八分七	二・七・十六分十一	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十三	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十三	四・八五・世二分三	二・七・八分五	一・六・世二分三	一・一〇・十六分十一	二・〇・四分三	二・三・八分七	一・一〇・十六分十一	二・七・八分五	二〇・三五・二分一	一二四・一六	三四・八九	九二・六三	二五・一八・四分三	一二四・一六

棉花相場

十二月
十　八(月)
十一　九(火)
十二　〇(水)
十三　一(木)
十四　二(金)
十五　三(土)

紐育

（一封度建）

	一月限	三月限	五月限	七月限	十月限	現物
	仙	仙	仙	仙	仙	仙
	一九•七五	一九•八〇	一九•八四	一九•九〇	一九•一〇	二〇•〇〇
	二〇•三〇	二〇•三〇	二〇•二四	一九•五一	二〇•五五	
	二〇•一八	二〇•一七	一九•八二	一九•三六	二〇•五〇	
	二〇•三五	二〇•三〇	一九•九五	一九•五〇	二〇•六〇	
	二〇•二七	二〇•一九	一九•八五	一九•三五	二〇•五五	
	二〇•一〇	二〇•〇六	一九•七三	一九•一〇	二〇•三五	

ルーブアヴリ

（一封度建）

	三月渡	十月渡	現物
	片	片	仙
	一〇•一八	九•九六	一〇•三九
	一〇•三二	一〇•〇八	一〇•五二
	一〇•四六	一〇•一九	一〇•七二
	一〇•四一	一〇•一六	一〇•九八
	一〇•五一	一〇•一三	一〇•七一
	一〇•四三	一〇•一五	一〇•六六

亞歷山（一カ—タン）建

サケル

	一月渡	三月渡
	ダラリ	ダラリ
	二六•九八	二七•二一
	二七•〇五	二七•三五
	二七•〇三	二七•〇五
	二七•〇五	二七•〇五
	二七•〇三	二七•〇五
	二七•〇五	二七•〇五
	二七•〇五	二七•〇五
	二七•〇五

○印度通貨週報

カルカッタ　十二月十日（火）

△十二月七日現在（單位十萬ルーピー）

		昨年同期	一昨年同期
紙幣流通高		一七、九六一	一八、七九〇
銀塊銀貨	在印	一〇、三五六	一一、一四八
	在外	一一、一四八	一〇、四九九
金塊金貨	在印	三、一〇七	二、九七六
	在外	一一	一
證券	印度政府	四、二三三	三、六九六
	英國政府	五六四	一四〇
爲替手形		二〇〇	五、一一〇 九四九
			一

△最近數週統計

		紙幣流通高	在印金銀	政府證券
			金	印度 英國
十二月廿二日		一八、二四七	一〇、五五五	二、九八二 四、二三三 五五五
三十日		一八、三二四	一〇、四九七	三、〇〇九 四、二三三 五八四
十二月七日		一八、四八一	一〇、三五六	三、一〇七 四、二三三 五八四

○桑港より銀塊積出高

サンフランシスコ　十二月十四日（金）

▲汽船プレシデント・ペンビューレン號積

△サンフランシスコ積

上海又は香港、神戶へ　九二、三二〇オンス

香港又は上海、神戶へ　二〇〇、五七三

△ニューヨーク積

上海又は香港へ　七〇七、六九九

○上海銀塊在荷高

上海　十二月十四日（金）

十二月十三日　昨年同期

上海市中	五七、六六九千兩	五三、八八九千兩
總在荷高	九九、〇二〇千弗	八〇、四五〇千弗
	二、二八九本	不明
內支那銀行手持高	二四、五二〇千兩	二一、七三〇千兩
	七七、四七〇千弗	六〇、六一〇千弗
	一、三二九本	三、五〇六本

△最近數週統計（上海總在荷高）

	千兩	千弗	本
十一月廿九日	五九、九四五	九五、四七〇	三、六六五
十二月六日	五六、七五五	九八、一七〇	一、七〇五
十三日	五七、六六九	九九、〇二〇	二、二八九

金物

米國金物市況

ニューヨーク　十二月十二日（水）

△鋼鐵　製鋼會社の生產も季節關係でそろそろ減少して來た觀がある。鐵道會社は相當先物註文を出したが建築用鋼材の需要は以前程活潑でない。然し來年一月になれば自動車工業方面からの需要が急增する徵候がある。

△銑鐵　底意靑り乍ら商內は活氣を缺いて來た。

△銅　閑散。年末棚卸しを控へて買手は見送つてゐる。製銅會社の腰は强い。尙ほ目先市場の形勢は樂觀視されてゐる。

△錫　週初め引弛みを呈したが其後反撥した。これは消費需要が見直したのとロンドン錫相場昂騰の爲めである。

△鉛　市況は强硬である。ニューヨーク地方に於ける新規買物はぽつぽつである。

△亞鉛　落付。但し消費需要は減退して來た。

△安質母尼　閑散乍ら落付。支那から稍や安値で賣物が出てゐる。

△ニューヨーク金物相場

十二月十日（月）（ヒツツバーグ渡）

銑鐵第二號鑄物用（一トン）	二〇弗七五仙
ビレッツ（ベスマ、同）	二四弗〇〇仙
スチール・バー（ベース、百封度）	一弗九五仙
スチール・シエープス（同、同）	一弗九五仙
タンク・プレート（同、同）	一弗九五仙
ブラックシート（廿四番同）	二弗八〇仙
亞鉛引シート（同、同）	二弗五五仙
鐵力（プライム・ベース、一箱）	五弗三五仙

十二月十三日（木）（一封度）

海峽錫（一口廿五トン）〔紐育〕	四九仙四分三
亞鉛（一口一車プライム・ウエスタン）〔紐育〕	六仙三分
鉛（一口一車紐育渡）聖路易渡	六仙八分三
安質母尼（稅濟）〔一口二五トン關〕〔紐育〕	九仙八分五

（電氣銅相場は第四頁に揭載）

英國金物市況

ロンドン　十二月十四日（金）

今週の金物市況は區々て、形勢は硬軟何れとも餘りはつきりしなかつた。

△銅　市況閑散を呈し相場の動きも少なかつた。然し市場の底意は引續き靑りを呈してゐる。これはアメリカの入報が良い爲めである

△錫　最近の相場急落により人氣が沮喪して來たのと季節的關係もあり消費家の需要はイギリス、アメリカとも大分減少した。而して氣配は目下頗る落付かない。

△鉛　格別目新しい材料もなく、消費家の需要は季節關係で閑散である。

△亞鉛　市況は强調となり相場も高値で保合つてゐる。これは生產者間に生產制限に就て協議中であるからやがて市況も好影響を受けるものと見越されるためである。

△ロンドン鐵類相場

十二月十五日（土）

蘇格蘭　東北岸	九磅四分三
アイアン・クラウンバー	九磅四分三

○十一月中のアメリカ鐵鋼生產高

ニューヨーク　十二月十日（月）

十一月中のアメリカ銑鐵及び鋼塊生產高は左の如くである。（單位トン）

〔銑鐵はアイアン・エーヂ調査〕
〔鋼塊はアメリカ鐵鋼協會調査〕

	銑鐵	鋼塊
十一月中	三、三〇三、五〇〇	四、二五九、四〇〇
一月以降累計	三四、四五三、八六一	四五、八三七、九二九
昨年同期累計	三三、五三六、五五一	三九、八九〇、五七一
一昨年同	三五、九七六、四一〇	四三、四六九、四三九

〔備考〕

昨年十一月	二、六四八、三七六	三、一〇一、六四
本年六月	三、〇八一、三〇〇	三、七四三、〇〇〇
七月	三、〇六三、八〇〇	三、八二一、六〇〇
八月	三、一三六、六〇〇	四、一七五、五〇〇
九月	三、〇六二、三〇〇	四、一四七、六〇〇
十月	三、三七三、〇〇〇	四、八四七、九〇〇
十一月	三、三〇二、五〇〇	四、二五九、四〇〇

○十一月中のアメリカ精銅集散統計

ニューヨーク　十二月十四日（金）

アメリカ金物統計局は十一月中の精銅統計を左の如く發表した。

（單位千米トン）

	一月以降累計	昨年同期	一昨年
生產高	一五五	一、四八〇	一、三四五
引渡高	一四九	一、五三三	一、三四三
內輸出	四九	六二五	五七九
內地	一〇〇	八九八	七六四
月末在荷高	五二	—	九一

〔備考〕

	生產高	引渡高 輸出	引渡高 內地	引渡高 計	在荷高
昨年十一月	一二八	五三	五九	一一二	九一
本年六月	一三一	五七	八一	一三八	五九
七月	一三五	五七	八二	一三九	五五
八月	一四四	六〇	八三	一四三	五五
九月	一三七	五一	八九	一四〇	五三
十月	一四九	五五	一〇〇	一五五	四六
十一月	一五五	五四	一〇〇	一四九	五三

○十一月末のスチール社製鋼註文殘高

ニューヨーク　十二月十日（月）

十一月末に於けるユー・エス・スチール會社鋼鐵註文殘高は三百六十七萬三千トンである。これを過去十二ケ年同期並に最近十二ケ月と比較すれば左の如くである。

（單位千トン）

	最近十二ケ月	昨年十二月	最近十二ケ月
一九一七年十一月	八、八九七	本年一月	四、二六八
一八年同	八、一二五	二月	四、二九八
一九年同	七、一二八	三月	四、三五五
二〇年同	九、〇三一	四月	四、三五一
二一年同	四、三五一	五月	四、四一七
二二年同	六、八四〇	六月	四、三六九
二三年同	四、三六九	七月	四、三五七
二四年同	四、〇三三	八月	四、三二四
二五年同	四、五八二	九月	四、三九八
二六年同	三、八〇七	十月	三、九二一
二七年嗣	三、三五四五	十一月	三、六七三
二八年同	三、六七三		

○歐洲亞鉛カルテル協定存續期延長

ブラッセル　十二月十五日（土）

フランス、ベルギー、イギリス、ドイツ、シレジアの亞鉛生產者は本年五月ブラッセルに於て國際會議を開きヨーロッパ亞鉛カルテルの組織を決議した。而して、

一、中央統計局を設置し生產高及び在荷高を報告すること。

二、若し必要あらば生產制限を行ひ市場の安定を圖ること。

等の協定を締結したが今回この協定を來年六月三十日まて存續することに決した。

又亞鉛カルテルは一九三〇年一月一日より生產制限を行ふ件に關し加盟外の生產國と協定を結ぶべく交涉するに決した。なほカルテルは定期的に亞鉛業の形勢の調査報告を出すことになつたが、これは加盟國に於て相場を決定する上に便せんためである。一方亞鉛電氣精鍊工場を新設することに關しても目下研究中である。

アイアン・アングル	一〇磅	
アイアス・ティース	一〇磅四分一	一〇磅四分一
スチール・シツププレート	七磅八分五	七磅八分五
ボラレー・プレート	一〇磅二分一	一〇磅
スチール・アングル	七磅八分一	七磅八分一
スチール・ジョイスト	七磅八分一	七磅八分一
レール	—	七磅四分三
シエーフイールド・スチール・ビツツツ	〔ソフト現物〕	六磅八分五
	〔ハート同〕	八磅八分五
クリーヴラウンド・スクラツプ		
〔ヘビー・スチール〕	六〇志	六二志二分一
〔ヘビー・カスト・アイアン〕	六二志二分一	七〇—七二志
銑鐵（グラスゴー第三號上物）	七〇—七二志	
同〔クリーヴラント第三號鑄物用輸出品〕	六六志	
ブラックシート〔東北岸本船渡一東百七封度〕	一三磅八分三	
ワイヤーネールス	二一志	

○イギリス十一月中の鐵鋼生產高

ロンドン　十二月十四日（金）

イギリス鐵鋼聯合會調査、十一月末に於ける作業中の銑鐵熔鑛爐基數並に十一月中の銑鐵、鋼塊及び鑄鋼生產高は左の如くである。

（單位トン）

	熔鑛爐數	銑鐵	鋼塊及鑄鋼
十一月中	一三五	五四四、〇〇〇	七六三、〇〇〇
本年累計	—	六、〇六五、〇〇〇	七、八四三、九〇〇
昨年同期	一三五	六、七三四、五〇〇	八、四九四、〇〇〇
一昨年同	七	二、三四三、五〇〇	三、二四一、一〇〇

〔備考〕

	熔鑛爐數	銑鐵	鋼塊及鑄鋼
昨年十一月	一三五	五七五、九〇〇	六九八、七〇〇
本年六月	一四一	五六四、〇〇〇	七一〇、〇〇〇
七月	一三一	五六六、〇〇〇	六六七、〇〇〇
八月	一三〇	五二九、〇〇〇	六四八、〇〇〇
九月	一三一	五〇四、〇〇〇	七一九、〇〇〇
十月	一三六	五四四、〇〇〇	七五六、〇〇〇
十一月	一三五	五四四、〇〇〇	七六三、〇〇〇

○イギリス十一月中の對日鐵類輸出高

ロンドン　十二月十二日（水）

イギリス商務省發表、十一月中にイギリスより日本へ輸出した鐵類は左の如くである。

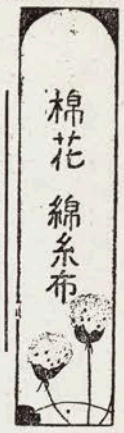
（單位トン）

	本年累計	昨年同期
鋼棒	二、一〇〇	一六、〇七五
鐵鋼板	一〇、三〇〇	一三七、八三七
亞鉛引鐵板	—	九二三
鉄力	一、二〇〇	二四、九二三

〔備考〕

	鋼棒	鐵鋼板	亞鉛引鐵板	鉄力
昨年十一月	一、五六七	七、八一六	六五八	一、二二
本年六月	二、九〇〇	一四、一〇〇	—	一、九〇〇
七月	三、五〇〇	一七、七〇〇	—	二、八〇〇
八月	七〇〇	七、七〇〇	—	二、三〇〇
九月	二、〇〇〇	九、九〇〇	—	一、二〇〇
十月	八〇〇	一〇、二〇〇	—	二、三〇〇
十一月	二、一〇〇	一〇、三〇〇	—	一、二〇〇

（昭和三年十二月九日——十五日發信）



米國棉花市況

ニューヨーク　十二月十一日（火）

▲反撥▼　相場は本日先物四五十ポイント、期近物五十五ポイントの急反撥を演じ、米棉收穫豫想發表前の相場を上廻るにいたつた。相場反撥の原因は弱氣收穫豫想發表に伴ふ最近の多數の賣進みにより仕手關係が大に強くなつてゐたところへ、左の如き好材料續出に紡績買ひ、思惑買ひ、空賣りの買埋め等が盛に出たゝめてある。

一、リヴアプール市場が強調であること。

一、南部に於ける現物需要が見直したこと。

一、繋ぎ賣りが少くなつたこと。

なほ十一日の相場足取りを一月限について示せば左の通りである

第一節　一九セント九五　第三節　二〇セント一
第二節　一九セント九六　大　引　二〇セント三〇

▲年末には現物引立つか▲

ニューヨーク　十二月十五日（土）

八日（土）發表の農務省最終公報が千四百三十七萬三千俵と前回豫想より二十四萬俵方增加した事は手持筋を失望せしめた。それは最終豫想が千四百萬俵を幾分割込むものと見て前月可なり多量の買付けを行つてゐたからである。從つてこの弱氣的の公報が出るや市場には手仕舞賣りが嵩んだが、然し相場が十九セント半近くになると實需買ひ及び空賣りの買ひ埋めが出て賣物を消化してしまつた。相場はその後間なく公報發表前の値頃に盛り返して來たがこれは十一月中の輸出及び內地消費高が引續き多額を示すべしと觀測された爲である。然し相場が二十セント以上になるとさすがに商內は少くなつてゐる。目下南部の現物が、相變らず安いため買氣は阻まれてゐるやうであるが然し一部ではクリスマスの休日以後には現物相場も引立つて來るであらうと見てゐる而してこれに連れニューヨーク相場の先高を見越す者も依然として相當多いらしい。

尙ほ南部地方に殘つてゐる棉の摘取りは引續き行はれてゐるが十二月一日以後の天候は摘取りに好適とはいひ難い。

○十一月中の米棉集散統計

ワシントン　十二月十四日（金）

アメリカ國勢局發表、十一月中の米棉統計は左の如くである。（單位千俵、千錘）

	今季累計	昨年同期
消費高	二、二四九	二、四九九
輸出高	一、四五二	三、七八
手持高	—	一、五五一
紡績工場	一、五六七	五、九六八
倉庫荷造所	五、二五三	—
紡績運轉錘數	三〇、五九七	三二、二六九

（備考）（輸出はリンターを含む）

	今季	昨年同期	一昨年同期
出廻高	一〇、一三六	九、六五八	一二、八八八
米國紡績引取高	三、二九一	三、四九五	三、六二四
輸出高	四、二〇八	三、五八一	四、九五五
內日本	七一六	四七三	五八八
支那	八九	六三	八五
イギリス	九二六	五〇八	一、二五一
ドイツ	一、九一〇	一、二二五	一、四〇四
ニューヨーク在荷	二四	二五	二三
アメリカ同	三、五九七	四、五六五	四、五五五
各國棉世界在荷	七、五二八	七、四九二	八、三一七
內アメリカ棉	五、七五五	六、一二七	七、一四三
世界米棉引取高	六、六〇七	六、九一〇	六、九二三

△最近數週統計

	出廻	引取	輸出	內日本	米國在荷	高
十一月三十日	七二四	三〇七	二五九	五六	三、五二九	
十二月七日	九二一	三二四	三六七	六六	三、五四七	
十四日	五六五	二七九	二六六	四〇	三、五九七	

米國綿製品市況

ニューヨーク　十二月十五日（土）

最近二ケ月間のアメリカ綿製品界を通觀するに形勢は著しく見直してゐる。これは製造業者間の協力が堅くなつたのと生產制限のお蔭である。原棉相場に對する人氣がよくなつて來たことも現在綿業が健實になつて來てゐる重要な一因である。

十月後半に於ては生地及び仕上品、特に仕上品の賣行きが頗る活潑であつた。而して權威ある筋の見込みによると十月中の販賣總額はレコード破りの多額に達した。

十一月の初め需要は一般に一時減退したがその後急速に增加し十一月中商內は殆ど各方面に亘り多額を維持してゐた。十二月前半に於てはシーチング、ダック、デニム、人絹綿糸交織新柄等が最も賣行きが盛んであつた。又流行品も人氣があり、捺染物も頗る引立つてゐた。

なほ來年の見込み如何といふに目下最も一般の興味を惹いてゐるのは來年のタイヤ用綿布の形勢如何である。本年のタイヤ用綿布の生產額は昨年に比し驚くべき激增を示したが、來年も漸次增大するタイヤ業方面からの需要に應ずるため生產額は引續き增加すべく、その徵候は各方面に現はれてゐる從つて來年の綿製品界は頗る有望である。

△ニューヨーク綿絲相場

十二月十一日（火）

二〇手單糸	一封度	三六セント二分一
四〇手二合撚	同	四九セント二分一
六〇手	同　同	五八セント二分一

英國棉花市況

リヴアプール　十二月十五日（土）

今週のリヴアプール棉花市場に於ては現物棉花は閑散である。先物は週初め一頓挫を來したがその後相場は漸次引戻して來た。尤も市場の人氣は米棉公報發表以前程良好ではなく今後もなほ相當の不安はあるものと思はれる。然し相場は漸騰氣配である。

エヂプト棉には特記材料なし。相場は一般に米棉に伴れて動いてゐる。

△綿布　八日（土）發表の米棉公報が弱氣であつた結果今週の市場は落付に乏しかつた。週初めは賣手買手共に見送りの態度に出た。週末に至つて引合ひは漸次增加して來たが一方週初に低落した原棉相場が引戻して來たので手合せは困難となり商內は概して少量であつた。今週インドからドーティーの買ひ註文があつたが分量が小口に過ぎなかつた。支那向き商內は好望視されて來た。シンガポールからの引合ひも漸增歩調である。エヂプトも又買氣を見せてゐる。

△綿糸　綿布と同じく米棉公報弱氣を眺めて落付かなかつた。尤も引合は多量にあつたが商談は大部分まとまらなかつた。

エヂプト棉綿糸は主として上等梳棉糸に需要があつた。

○十一月中のイギリス綿絲布輸出高

ロンドン　十二月十二日（水）

イギリス商務省發表、十一月中のイギリス綿糸布輸出高は左の如くである。

△綿布（千平方ヤード）

	本年累計	前年同期
輸出總額	三、一〇〇、五七六、六〇六	三、八二七、〇六三
インド	一、四二九、七三九	一、五四四、三六八
支那	一六四、〇二九	九四、九三七
日本	一、〇〇五	二、五七五
歐大陸	二四二、二七七	三九一、〇九二
地中海	二七、八六	二六九、九六五
ジヤワ	一、四九一	一三〇、八二三
新嘉坡	七、〇九六	七三、七一三
南米	三一、二五三	三〇一、〇一〇

△綿糸（千封度）

輸出總額	一五、四三一	一八五、九六〇
インド	二、〇六七	二〇、三一一
支那	一四四	一、九七
歐大陸	九、七一〇	一三三、五五〇

△過去六ケ月々別統計

	綿布 インド	綿布 支那	綿糸 インド	綿糸 支那
本年九月	一二八、二七六	一、二二九	一、八一七	一三
十　月	一三三、〇一〇	二〇、九五一	二、四九八	一四五
十一月	一二六、七三三	二八、四七三	二、〇六七	一四四

△同上綿布月計（除對印支）

	地中海	ジヤワ	新嘉坡	南米
本年九月	二四、六〇〇	一〇、五五一	五、六三一	二四、八九七
十　月	二三、三六六	一四、三三三	五、九六一	三〇、三二四
十一月	二七、一八六	一一、四九一	七、〇九六	三一、二五二

（備考）右地方別は左の通りである。

△地中海＝ギリシヤ、ルーマニヤ、トルコ、モロッコ、シリヤ、エヂプトの諸國。

△ジヤワ＝蘭領東インド諸島。

△シンガポール＝海峽植民地及マレイ半島。

△南米＝コロンビヤ、ヴエネズエラ、エクアドル、ペルー、チリー、ウルグワイ、ボリビヤ、アルゼンチン、ブラジルの諸國。

○十一月對日紡機輸出高

ロンドン　十二月十二日（水）

イギリス商務省發表、十一月中にイギリスより日本へ輸出した紡織機械は左の通り。

十一月中	一、一〇〇トン
一月以降累計	一二、三五〇トン
昨年同期	七、五二四トン

（備考）（單位トン）

昨年十一月	二六五
本年一　月	四六六
二　月	五四四
三　月	一、二〇〇
四　月	一、二〇〇
五　月	一、〇〇〇
六　月	九〇〇
七　月	九〇〇
八　月	一、二〇〇
九　月	一、二〇〇
十　月	一、二〇〇
十一月	一、一〇〇
十二月	十一月以降

○埃及棉花統計

アレキサンドリア　十二月十五日（土）

（アレキサンドリア一般取引所發表、單位千カンター）

	今季累計	昨年同期	一昨年同期
入荷高	四、八七六	三、五〇二	四、〇五六
輸出高	二、七〇一	二、一六一	二、二八九
在荷高	三、三五〇	二、八四〇	二、八四〇

△最近數週統計

	入荷高	輸出高	在荷高
十一月廿九日	三三四	二〇二	三、三七
十二月六　日	三四一	二五二	三、三〇六
十三日	二八六	二一六	三、三五〇

○エヂプト市場へ日本綿布進出

マンチエスター 十二月十三日（木）

本日發行のマンチエスター●ガーヂアン●コンマーシャル誌はエヂプト歸來者の綿業談を載せてゐる。これによるとエヂプトに於けるランカシア綿布の賣行きは以前に比して一段と好望となつて來たが、それにも優つて日本綿布の競爭が增加しつつあることは注意すべきて、二ヶ年以前にはランカシア品が日常用ひられてゐたに拘らず今日では殆どランカシア品を用ひなくなつた所もある。反對に街上の土人の背には日本製縞物が用ひられてゐるのを見受けるとの。

印度棉花市況

ボンベイ 十二月十五日（土）

地場思惑筋は引續き強人氣であるが一方日本輸出商筋から大量の繋ぎ賣りが出たのでこの強人氣も市場には餘り響かなかつた。今週日本筋はほんの少量より註文を出さなかつた。又支那も殆ど手を出さなかつた。これは支那に內地產棉花の在荷が多量に上つてゐるためである。ヨーロッパの紡績會社は多量の引合ひを出したがその指値は今なほ安過ぎて大した商內も出來ない。

今週のボンベイ入荷高は十萬五千俵と前週に比し二萬三千俵方增加してゐるが、斯の如くして在荷高が漸增歩調をとる結果商人筋は賣りを急いでゐる。紡績會社は活氣を示さない。これは勞資爭議の結果重大な紛擾が起るかも知れぬとの懸念が今なほ存してゐるためである。而して十二日（水）には一部て暴動が起つたため同日は休業の止むなきに至つたが翌十三日には大部分再開した。然し形勢は目下なほ頗る不安である。

○孟買棉花統計

ボンベイ 十二月十五日（土）

△ボンベイ棉花取引所發表（單位千俵）

		昨年同期	一昨年同期
入荷高		四三八	五三三	三一三
輸出高	歐洲	一八四	一二八	六一
	支那	四七	一四	一七
	日本	二七	一〇一	七七
	其他	五七	六	四
	計	九	一九	一四
在荷高		五二	三九	三三

△最近數週統計

		輸出高				在荷高
		總計	歐洲	支那	日本	
十一月廿九日		六四	二六	四	三	六九四
十二月六日		八三	三五	三	一	六七〇
十三日		一〇五	六一	九	一	五一

○ボンベイ紡績罷業者警官と衝突を演ず

ボンベイ 十二月十二日（水）

ボンベイ紡績四工場の職工六千人は賃銀引下げに反對し去る十一月廿六日より罷業を行つてゐるが十二日北ボンベイに於て罷業職工と警官との間に衝突起り三人の死者を出だした。原因は罷業職工の投石に對し警官側が自衛上發砲したことにある。

なほこの衝突の結果として他の多數工場でも突如罷業の擧に出るものがあつた。

孟買綿絲布相場

十二月十五日（土）

晒金巾一五〇〇番ライプマン 一六留比二分一
生金巾二〇〇〇番ファリ 九留比十六分三
粗市三〇ヤード龍C 八留比二分一
二〇手綿糸 二アンナ二分一
一〇手綿糸 九アンナ四分三

上海綿絲相場（一梱）

△華商紗布交易所大引（支那糸右一六手）

	五月限	
十二月十日（月）	一四兩五匁	一二〇兩六匁四月
十一日（火）	一四兩九匁	一二〇兩六匁
十二日（水）	一四兩八匁	一二〇兩九匁
十三日（木）	一四兩四匁	一二〇兩九匁
十四日（金）	一四兩一匁	一二〇兩九匁
十五日（土）	一三兩九匁	一二一兩七匁三月

生絲

米國生糸市況

ニューヨーク 十二月十三日（木）

△生糸 現物の需要は稍や增加した。又工場の生糸手持ちも平常より少いことのことである。しかし年末の棚卸しも近づきつゝあることとて著しき買付け增加も期待出來ないと輸入商は見てゐる。支那機械糸は活潑になつたが、これは右の相場が一部製造業者の買氣を惹いてゐるためて、これ等製造業者は支那機械糸を日本生糸よりも多く使つてゐる。生糸取引所の商內は見直した。

△絹製品 春物に對し多額の豫約註文が出てゐる。而して目下最も人氣のあるのは捺染物で靴下類も活氣がある。

△人造絹糸 需要は更に多額に上つてゐる。

○ナショナル生絲取引所十二月限受渡格差改正

ニューヨーク 十二月十二日（水）

ナショナル生糸取引所は去る十一月廿六日に十二月限の受渡し格差を決定發表したが今回その一部を左の如く改正した。

（單位セント）

一、受渡標準品たるD級品より格上げ

十二月限 改正 A級品 六
前報 五

一、受渡標準品たるD級品より格下げ

B級品	二	五	二
C級品	一〇	一〇	一〇
E級品	六	八	六
F級品	二	四	二
D級同格	五	二	五
W級品	一〇	三	一〇
XW級品	五	一〇	五
Y級品	一〇	五	一〇
D級同格	五	二	五
Z級品	一〇	五	一〇

○國際生絲格付會議ニューヨークに於て開催

ニューヨーク 十二月十二日（水）

アメリカ絹業協會は第二回國際生糸格付會議を來年春ニューヨークに於て開催する案を承認した。右會議には日本、支那、フランス、スイス、イタリー及びアメリカの專門家が參加出席することになつてゐる。

○十一月中の日本生糸絹織物輸入高

ロンドン 十二月十二日（水）

イギリス商務省發表、十一月中にイギリスが日本より輸入した生糸及絹織物は左の如くである。（生糸は封度、絹織物千平方ヤード）

		一月以降累計	昨年同期
生糸		五八五、三五八	四八一、四九五
絹織物		五七八	一三、七七
〔備考〕			一六、六三
生糸			
昨年十一月		七〇、三七八	
十二月		三七、〇九四	
本年一月		四〇、九四八	
二月		四八、九二〇	
三月		八四、〇〇〇	
四月		五〇、七〇〇	
五月		四三、八〇〇	
六月		二〇、八〇〇	
七月		二〇、八〇〇	
八月		一七、三〇〇	
九月		六七、八〇〇	
十月		九九、〇〇〇	
十一月		八六、九〇〇	
絹織物			
昨年十一月		一、一九	
十二月		一、四九五	
本年一月		一、九三六	
二月		一、二一一	
三月		一、六五五	
四月		一、〇八三	
五月		一、八一〇	
六月		一、二一〇	
七月		一、〇四五	
八月		九三三	
九月		七四九	
十月		五四七	
十一月		五七八	

リオン生絲相場（一キログラム）

十二月十一日（火）

日本糸（十四中）	二九二フラン
支那糸（スモール●エキストラ）	三七フラン
廣東糸（良一番十五中）	二四二フラン

羊毛

英國羊毛市況

ブラッドフォード 十二月十四日（金）

△トップ 相場の前途がはつきりしないので買手は當座必要品の手當を行つてゐるにすぎない。目下の相場は左の通りである。

メリノ七〇番（アベレーヂ）	五〇片
同 六四番（同）	四六片
同 六〇番（スーパー）	四五片
雜種 五八番（スーパーカ●スーパックス）	四一片三分一

△毛糸 消費家は現在の値段では餘り氣乘りしない。梳毛糸の相場は左の如くて引續き變らない。

十六番手二合燃（廿二番トップ使用）	三八片
同 四〇番同	二九片
廿四番手同 （七〇番同）	六〇片二分一

△毛織物 買ひ註文は一般に捗々しくない。

○十一月中の對日毛織物輸出高

ロンドン 十二月十二日（水）

イギリス商務省發表、十一月中にイギリスより日本へ輸出した毛織物は左の如くである（單位千平方ヤード）

	一月以降累計	昨年同期
ウーレン	八六八	一、二六六
ウーステッド	五三〇	二、〇一七
合計	一、三九八	三、二八三
〔備考〕		
	ウーレン	ウーステッド
昨年十一月	一、八六〇	五四〇
十二月	一、九五一	六六四

○ロンドン生絲相場（一封度建）

	上海七里經絲（再繰絲）	廣東新式絲羊印（再繰絲）	里昂經絲駝鳥印	里昂經絲太陽印	日本機械絲飛切	日本機械絲細絲
十二月十日（月）	一五志八分三	一五志八分五	一五志八分三	一四志二分一	二一志	二〇志四分一
十一日（火）	一五志八分三	一五志八分三	一五志四分三	一四志二分一	二一志	二〇志四分一
十二日（水）	一五志八分三	一五志四分三	一五志八分三	一四志二分一	二一志	二〇志四分一
十三日（木）	一五志八分三	一五志八分五	一五志四分一	一四志二分一	二〇志八分七	二〇志四分一
十四日（金）	一五志八分一	一五志八分一	一五志八分一	一四志四分一	二〇志四分三	二〇志
十五日（土）	一五志	一五志二分一	一五志	一四志四分一	二〇志四分三	二〇志

油脂

英國油脂市況

ロンドン 十二月十五日（土）

△亞麻仁 期近物に少しく買氣があつたのみである。

△亞麻仁油 消費需要ぼつぼつである。

△菜種 最近の安値に誘はれてヨーロッパ大陸筋から可成りの需要があつた。

△滿洲大豆 引合ひは引續き相當にある。

△大豆油 市場の形勢は變らない

△ロンドン大豆油相場

（東洋品バルク積、百十二封度に付）

十二月十二日（水）十二、一月積唱へ 三志二分一

△トリヤ菜種（c.i.f.ロンドン）

十二月十日（月） 十二、一月積名目 九磅八分一
十一日（火） プレーメン向 一、二月積 九磅
十二日（水） 十二、一月積名目 九磅八分一
十三日（木） 同、同 九磅八分一
十四日（金） 同、同 九磅八分一
十五日（土） 同、同 九磅

	本年一月	三五六	一、二一九
	二月	四一六	八五
	三月	一五一	一七五
	四月	二一四	二三五
	五月	一、〇二八	一、四五
	六月	二、三五三	二、六四四
	七月	一、五六七	一、八八七
	八月	七三八	八六一
	九月	一七九	二四〇
	十月	三三三	四四二
	十一月	八二八	一、三四八

紐育植物油相場

ニューヨーク　十二月十二日（水）

（現物、關稅濟）		
亞麻仁油（粗製、紐育渡）	一ガロン	六八仙
菜種油（精製、樽入）（紐育甲板渡）	同	八〇仙
棉實油（同　上）一封度		一〇仙八分一
同　上（粗製、紐育渡）	同	八仙四分一
大豆油（同、太平洋岸同）	同	九仙四分三
落花生油（東洋品粗製同）	同	一三仙三分一
椰子油（錫蘭級同）　同		八仙四分一
支那桐油（樽入、太平洋岸甲板渡）	同	一三仙八分一
荏　油（同　上）	同	一五仙
蓖麻子油（第三號樽入）（紐育甲板渡）	同	一三仙四分三

（棉實油定期相場は第五頁にあり）

大連三品出來高

（大連重要物産取引所定期賣買出來高）（單位大豆油百函、大豆一車、豆粕千枚）

	豆油	大豆	豆粕
十二月十　日（月）	一〇〇	一四九	一三
十一日（火）	八五	七七	八八
十二日（水）	八〇	一六七	七六
十三日（木）	一〇〇	四五六	二三七
十四日（金）	八〇	三五九	九〇
十五日（土）	六五	三一九	一〇五

○大連取引所三等大豆上場

大　連　十二月十三日（木）

大連取引所より申請中の三等大豆先物取引上場の件は十二日附にて決定、十五日より施行する事となつた。三等大豆は混合保管三等品を標準とし、受渡期日は毎月十五日と末日で、限月は當分三限とする。その他は現行大豆取引と同じてある。尚ほ別格大豆取引規定は同時に廢止される。

○東三省大豆收穫豫想

大　連　十二月十一日（火）

南滿洲鐵道株式會社は東三省の本年度第三回大豆收穫豫想を左の通り發表した。

△作付反別（單位千反）　前回（十月）　昨年度

南滿洲　一四、七三　一四、七三　發表せず

北滿洲　二三、九四一　二三、〇六三　同　上

合　計　三七、六五三　三七、七八一　同　上

△作柄（パーセント）

南滿平均　一〇〇　發表せず

北滿平均　一〇九　同　上

兩滿平均　一〇八　同　上

△收穫豫想（單位千米トン）

南滿洲　二、一七九　二、一八〇　一、九四五

北滿洲　三、二四一　三、二六九　二、八〇四

合　計　五、四二〇　五、四四九　四、七四九

（備考）作柄は前年度作柄を一〇〇として算出したもの、昨年度作付反別は同年第三回發表豫想にして同年度收穫高は推定實收高である。

哈爾賓豆粕相場

△市中相場邦貨換算（f.o.b. 浦塩渡百斤建）

十二月十　日（月）	一月渡賣手	四圓三錢
十一日（火）	同、同	四圓三錢
十二日（水）	同出來値	四圓三錢
十三日（木）	同、同	四圓三錢
十四日（金）	同、買手	四圓三錢
十五日（土）	同、中値	四圓三錢

小麥

米國小麥市況

シカゴ　十二月十五日（土）

今週のシカゴ小麥相場の動きは小幅であつた。冬小麥產地に於ては天候作柄ともに申し分なしとのことであり、又全產地に亘つて雨量は十分なる模樣である。今週の市場で特筆すべきは在荷が頗る大量に達せるに拘らず、格別大した賣物嵩みとならず、却つて十二月限約定品の受渡しが著しく少量てあつたことである。なほ十二月限の相場は五月限の昂騰につれて急騰氣勢である。

カナダ產地に於ける雨量不足の報は少しく注意をひき輸送中のマニトバ小麥に對するヨーロッパの註文は增加した。アルゼンチンては降雨のために收穫並に輸出港向け積出しが遲延してゐる。しかし小麥の品質には被害はなかつた。オーストラリアからの作柄情報は極めて良好で、インド筋は同地て一月積を買つてゐるとの事である

○一九二八年產 米國小麥收穫高

ワシントン　十二月十四日（金）

アメリカ農務省は一九二八年產のアメリカ小麥收穫高を左の通り發表した。

冬小麥	五七八、九六四、〇〇〇ブッセル
春小麥	三三三、七八五、〇〇〇
合　計	九〇二、七四九、〇〇〇

（備考）（單位千ブッセル）

	冬小麥	春小麥	合　計
一九二一年	六〇〇、三一六	二一四、五八九	八二四、九〇五
二二年	五八六、八七八	二六〇、七二〇	八四七、五九八
二三年	五七一、七七七	二二五、六一七	七九七、三九四
二四年	五九二、二五九	二七二、一六九	八六四、四二八
二五年	四〇一、七二四	二七四、六九五	六七六、四二九
二六年	六二六、四三三	二〇三、六〇七	八三三、〇四〇
二七年	五五三、三八四	三一九、三〇七	八七一、六八一
二八年	五七八、九六四	三三三、七八五	九〇二、七四九

砂糖

米國砂糖市況

ニューヨーク　十二月十五日（土）

△粗糖　今週市況は靜りとなつた尤も此の强調は期近物に限られてゐるやうで新糖相場は寧ろ下押してゐる。一方舊糖の形勢は引締りの模樣て當地の倉庫に於ける在荷十萬トンを別にすれば舊糖は新糖が纏つて出廻り始まるまでに品切れとなりさうな風が見えて來た。又キューバの砂糖輸出會社發表によると十二月中のアメリカ向け輸出及び其他の必要に充て得る殘糖は十二月一日現在僅か二十九萬四千トンに過ぎない。而して權威ある筋の觀測する所では若しアメリカの精製糖會社が現在の程度の生產を續けるに於ては此の全部が必要とされるであらうと。

今週の市中取引出來高はキューバ十五萬六千袋、ヒリッピン糖一萬四千袋、ポルトリコ糖九千袋、合計十七萬九千袋であつた。

△精製糖　今週は舊約定による引取りが旺んに行はれた。然し新規商內は少量である。精製糖會社の會社賣り値は目下五セント二五で前週と保合つて居る。

○アメリカ 甜菜糖生產豫想

ワシントン　十二月十五日（土）

アメリカ農務省は十一月末調査の本年度アメリカ甜菜糖生產豫想を九十一萬七千米トンと發表した（備考）なほ過去のアメリカ甜菜糖生產高は左の通りである。

一九一八年生產高	七六一、〇〇〇米トン
一九年同	七二六、〇〇〇
二〇年同	一、〇九九、〇〇〇
二一年同	一、〇三〇、〇〇〇
二二年同	六七五、〇〇〇
二三年同	八八一、〇〇〇
二四年同	一、〇九〇、〇〇〇
二五年同	九一三、〇〇〇
二六年同	八九七、〇〇〇
二七年同	一、〇九三、〇〇〇
二八年七月一日豫想	八七九、〇〇〇
八月一日同	八七〇、〇〇〇
九月一日同	八三〇、〇〇〇
十月一日同	八七九、〇〇〇
十一月一日同	八九九、〇〇〇
十二月一日同	九一七、〇〇〇

○ランボーン商會 玖馬糖豫想

ニューヨーク　十二月十三日（木）

ランボーン商會はキューバ新糖生產豫想を五百十萬トンと發表した

（備考）右は十一月十六日ウイレット・グレー商會が發表した豫想よりも二十萬トン方多い。なほ過去のキューバ糖生產高は左の通りである。（ウイレット・グレー商會調査）

一九二〇—二一年	三、九三六、〇四〇トン
二一—二二年	三、九九六、三六七
二二—二三年	三、六〇三、九一〇
二三—二四年	四、〇八六、六四二
二四—二五年	五、一三五、九七〇
二五—二六年	四、八四四、六五八
二六—二七年	四、三〇八、五二二
二七—二八年	四、〇二二、七一七
二八—二九年豫想	四、二〇〇、〇〇〇
十一月十六日	五、一〇〇、〇〇〇
十二月十三日	

○キューバ政府發表 新糖生產豫想

ニューヨーク　十二月十四日（金）

ハバナ來電、キューバ農務長官は新糖の生產豫想を約四百七十五萬英トンと發表した。

（備考）右を最近發表された民間豫想と比較して示せば左の通りである。

ウイレットグレー商會（十二月十五日）	四、九〇〇千トン
ランボーン商會（十二月十三日）	五、一〇〇
キューバ農務省（十二月十四日）	四、七五〇

○玖馬砂糖統計

ニューヨーク　十二月十四日（金）

▲ウイレットグレー商會十二月八日調査

		昨年同期
△新糖		
作業中工場生產高	四、〇三七、八〇〇噸	四、五〇八、五二一噸
キューバ消費高	八八、五〇〇	一五二、〇〇〇
輸出港入荷高	三、七九八、八〇〇	四、二三三、六三二
輸出高	三、五五四、三〇〇	三、八八六、〇四四
製糖工場輸送及鐵道中在荷	一五〇、五〇〇	二九八、八六九
輸出港在荷高	二四四、五〇〇	三七、五五八
△舊糖		
輸出港在荷高	一、〇〇〇	—

▲最近數週統計（單位百トン）

	作業工場	生產高	入荷高	輸出高	輸出港在荷高
十一月廿四日	—	—	五三二	八七三	三、二四九
十二月一日	—	—	二三三	六〇八	二、八七三
八　日	—	—	二五四	六八三	二、四四五

英國砂糖市況

ロンドン　十二月十五日（土）

今週のロンドン砂糖市場は引續き不振である。

△粗糖　最近の値段でほんの少量の手合せがあつた。

△精製糖　商內は極めて僅少である。なほ本年中に需要が見直すことはあるまいと觀られてゐる。

△定期市場　白糖の商內は非常に少い。相場の動きも小幅に過ぎなかつた。粗糖は靜りて可成り多量の商內があつた。

○十一月中の砂糖消費高

ロンドン　十二月十五日（土）

イギリス商務省發表によれば十一月中のイギリス砂糖消費高は十五萬六千七百七十八トンで昨年同期よりも三萬一千二百八十一トン方多い。

（備考）本年一月以降の累計は百六十八萬九百七十五トンである。これを過去の數字に比較すれば左の如くである。

一九二二年一—十一月	一、四八七、八〇六トン
二三年同	一、三九六、二九八
二四年同	一、四三八、八三一
二五年同	一、五四二、五三二
二六年同	一、五〇六、〇〇〇
二七年同	一、二九八、四三〇
二八年同	一、六〇〇、九七五

○ドイ聯邦議會　砂糖稅引上案可決

ベルリン　十二月十四日（金）

ドイツ聯邦議會は今回砂糖輸入稅引上案を可決した。この法案は現行輸入稅二百二十四封度に付十五マルクを二十五マルクに引上げんとするものがあるがマグデブルグ取引所の砂糖相場が百十二封度に付二十一マルク以上となつた場合はこの增稅を廢止することゝなつてゐる。なほこの法案の目的は外國の生產者をして砂糖限產協定の必要なるを感ぜしめこれが會議開催の機運を促進せしめんとするにあるらしい。

〔備考〕　來年度はキューバを首め世界各國共限產を行はないことになつてゐるから自然猛烈なる販賣競爭が惹起されることになら う。そこでドイツはいち早く關稅障壁を高くして自國の糖業を保護すると共に外國をして限產協定の止むなきに至らしめやうとしてゐるものと思はれる。

▲イギリス砂糖政策影響▼

ベルリン　十二月十五日（土）

ドイツ議會が砂糖の輸入稅引上案を可決したが、引上げ實施は十二月十八日からである。なほ引上げの理由如何はドイツ最大の甜菜糖會社の一つなる某社重役ベリロフスキー氏の談によつて大体窺はれる。卽ち氏は曰く、

「現在糖業が世界的に混沌たる狀態を呈するに至つたのはイギリス砂糖政策の影響である。イギリスが精製糖の關稅を引上げたことはチエツコスロヴアキヤに大打擊を與へ、その結果チエツコスロヴアキヤはドイツに於て多額の投げ賣りを試みるやうなことになつたのである。」

○ジヤワ糖生產高

スラバヤ　十二月十一日（火）

ジヤワ・トラストは加盟製糖工場の一九二八年生產高を左の通り發表した。（單位トン、一トンは一、〇一六キログラム）

	昨年生產高
白双廿五番以上	一、七三一、九〇〇
中双及黃双	八三七、〇〇〇　七四五、九〇〇
其他	一〇七、九〇〇　三六、八〇〇
合計	二、六七六、八〇〇　二、四八一、一〇〇
トラスト加盟外工場	二六一、八〇〇　二五、〇〇〇

〔備考〕（單位トン）

	トラスト加盟工場	外合計
一九二三年生產高	一、五七六、一〇〇	一、七三三、九〇〇
二四年　同	一、七六三、〇〇〇	一、九七九、一〇〇
二五年　同	二、〇四三、〇〇〇	二、二八一、八〇〇
二六年　同	一、七八六、三〇〇	一、九五七、三〇〇
二七年　同	二、一四一、一〇〇	二、三五六、一〇〇
二八年（豫想）		
三月末調查	二、三三八、〇〇〇	二、五六〇、〇〇〇
四月末同	二、三五六、八〇〇	二、五九六、八〇〇
五月末同	二、四六〇、五〇〇	二、七〇〇、五〇〇
六月末同	二、五八七、五〇〇	二、八三七、五〇〇
七月末同	二、六三五、四〇〇	二、八九五、四〇〇
八月末同	二、六五七、九〇〇	二、九一三、九〇〇
九月末同	二、六七六、一〇〇	二、九三二、一〇〇
十月末同	二、六七七、四〇〇	二、九三三、四〇〇
生產高	二、六七六、八〇〇	二、九二六、四〇〇

○ジヤワ殘糖賣約

スラバヤ　十二月十五日（土）

トラストは本年糖白双殘糖見積額約二十九萬五千トンを今回賣約した。値段は十二盾半である。

○十一月中ジヤワ糖輸出高

スラバヤ　十二月十五日（土）

十一月中のジヤワ糖輸出高は左の如くである。（單位百トン、一トンは一、〇一六キログラム）

	昨年同期	五月以降累計
スエズ以西諸國	一、〇五三	二、七四六
インド	一、一六八	七、〇五七
香港	二七三	五、二一〇
支那	四五一	一、五五五
日本（含臺灣）	八九	一、七三三
其他諸國	一八三	三、四〇九
合計	三、二一六	一四、三五五

〔備考〕（單位百トン）

	香港	支那	日本	其他	合計
蘇土以西	印度				
昨年十一月	三	七〇	二五	八六	一四三
十一月	七	二五	八六	一四三	一、五二五

○十一月末までのジヤワ糖荷動統計

スラバヤ　十二月十二日（水）

本年五月一日より十一月末までのジヤワ糖荷動統計は左の如くである。（一トンは一、〇一六キログラム）

輸出港出廻高	二、九三八、四〇〇トン
內トラスト工場品	二、六七六、八〇〇
加盟外工場品	二六一、六〇〇
輸出高	一、七四四、八〇〇
島內消費高	一八九、〇〇〇
輸出港及工場在荷	一、〇一一、二五〇
輸出可能量（自十二月至翌年四月）	八七六、四〇〇

護謨

英國護謨市況

ロンドン　十二月十五日（土）

今週のロンドン・ゴム市場に於ける氣配は引續き躊躇氣味である商內も依然少く、取引は主として現物及び期近物に限られてゐるが現物及び期近の供給は明に少くなつてゐる。然し產地より海上輸送中のゴムに對しては c.i.f. の條件で相當賣物がある。市場には之れ以外には格別目新しい材料もない。

○英國ゴム統計

（ロンドン・ゴム協會發表、單位トン）

▲ロンドン

ロンドン　十二月十日（月）

	前週末	本年累計	昨年同期	一年同
入荷高	一、六二〇	七四、四九一	一〇六、三一六	一〇六、三三一
引取高	一、九五八	七三、一八一	九一、〇九六	九六、〇〇三
在荷高	一六、五一七	—	六六、〇一一	四六、三四九

▲リヴアプール

リヴアプール　十二月十日（月）

入荷高	一〇三トン
引取高	一〇七
在荷高	二、二〇四

△最近數週統計

	入荷高	引取高	在荷高
十一月廿四日	不明	一三五	二、二三一
十二月　一日	一〇〇	一六〇	二、二七一
八日	一〇三	一七〇	二、二〇四

△週末ロンドン在荷民間豫想

十二月十四日（金）　一、二〇〇—一、三〇〇トン增

○十一月のアメリカ　ゴム需給統計發表

ニューヨーク　十二月十二日（水）

アメリカ・ゴム協會調查、十一月中のアメリカ・ゴム需給統計は左の如くである。（單位トン）

	十一月	一月以降累計	昨年同期
輸入高	三四、七〇〇	三九、五〇〇	四〇三、六〇〇
消費高	三七、五〇〇	四一〇、二〇〇	三五五、六〇〇
月末在荷高	六二、〇〇〇	—	一〇一、〇〇〇
米國向輸送中	六、一〇〇		三七、一〇〇

〔備考〕

	輸入高	消費高	在荷高	輸送中
昨年十一月	四二、〇〇〇	三六、八〇〇	九〇、一〇〇	三七、一〇〇
本年六月	三五、八〇〇	三七、七〇〇	九〇、一〇〇	四〇、〇〇〇
七月	三三、四〇〇	三七、四〇〇	八三、一〇〇	四一、三〇〇
入月	二九、八〇〇	四二、九〇〇	六九、〇〇〇	五一、九〇〇
九月	四六、七〇〇	三九、九〇〇	六六、九〇〇	四六、八〇〇
十月	四三、五〇〇	四〇、九〇〇	六六、四〇〇	四一、六〇〇
十一月	三四、七〇〇	三七、五〇〇	六三、〇〇〇	六六、一〇〇

新嘉坡護謨（殼賣）成績

シンガポール　十二月十三日（木）

	前週	本週
△賣出高	六八噸六二	七二噸四六
△賣上高	五七噸二四	六四噸七一

△競賣相場（最高値、一封度に付）

クレープ（グッド・ペール）　二元仙三分一

シート（グッドアベレージ・クオリテイ・リブド・スモークト）　二元仙

船舶

英國海運市況

ロンドン　十二月十一日（火）

最近のロンドン海運市場に於てはリヴアプレートの成約が引續き最も盛んである。

船腹需要が增加して來た。

ロンドン　十二月十四日（金）

△ロンドン成約運賃

十二月十一日（火）

サンロレンゾ＝イギリス、歐大陸　雜穀　五、三〇〇噸　十二、一月積　二五志三分一

同　雜穀　六、〇〇〇　一、二月積　二五志

コンセプシヨン＝同上　同　同　二六志二分一

サンロレンゾ＝地中海　同　一月下旬　二七志

ボンベイ、カラチ＝アーブル、モルムーゴン　雜穀　五、〇〇〇　一、二月積　四一志

十二月十四日（金）

サンタフエ＝イギリス、歐大陸　雜穀　五、三〇〇　十二、一月　二七志

サンロレンゾ＝同上　同　一般貨物　七、〇〇〇　十二月積　二六志

浦鹽＝ロッテルダム、ハンブルグ　大豆　六、五〇〇　一月積　三六志四分一

西濠洲＝レヴアント　雜穀　五、〇〇〇　一、二月積　四一志

十二月十四日（金）

ポンペイ＝アーブル、ハンブルグ　一般貨物　七、〇〇〇　十二月積　二六志

浦鹽＝ロッテルダム、ハンブルグ　大豆　六、五〇〇　一月積　三六志四分一

西濠洲＝レヴアント　雜穀　五、〇〇〇　一、二月積　四一志

十二月十四日（金）

サンタフエ＝イギリス、歐大陸　雜穀　五、三〇〇　十二、一月　二七志

サンロレンゾ＝同上　同　同　四、二〇〇　一月積　二六志四分一

南濠ヴイクトリヤ諸港＝同上、地中海　同　六、九〇〇　十二、一月　四五志

アメリカ北大＝アントワープ、ロッテルダム　同　六、九〇〇　十二、一月　四五志

西洋岸諸港＝ロッテルダム　同　七、〇〇〇　一月後半　一四仙四分三

ヴアンクーヴアー＝ギリシヤ　同　九、〇〇〇　一、二月　三六志二分一

ヴイクトリヤ＝カルカッタ（三日）　同　六、五〇〇　五—七月　三五志

ウエールス＝ヴエノスアイレス　石炭　六、〇〇〇　一月初旬　一三志四分一

○ボルチツク傭船契約

ロンドン　十二月十四日（金）

左の傭船契約がボルチツク取引所で出來た

一、トン數　五、五〇〇（重量トン）

一、就路航重に期間　ベルシヤ灣向一周航

一、引渡地　ロッテルダム

一、返却地　イギリス、歐大陸

一、引渡期　十二月

一、傭船料（一トンに付）四シル四分一

○米獨船舶會社　提携交涉不調に移る

ベルリン　十二月十四日（金）

北ドイツ・ロイド會社發表によれば同社とハンブルグ・アメリカン汽船會社とは豫て業務上の協定を結ぶべく交涉中であつたが、この交涉は遂に不調に終つたと。

排日運動新傾向

漢口　十二月十五日（土）

九日から十五日までの反日運動は概して掛聲の大なりしに比し眞の底力を缺いてゐたが而も其所に左記の如き見逃し難い新傾向の動きが發見された。卽ち第一反日運動の實行方法は著しく組織化し宣傳材料等も具體的且つ計數的根據によつて來た事、第二山東撤兵の要求から總ての日支重大案件に焦點を移した事、第三國貨奬勵を力說して日貨排斥の持久戰に入りつゝある事、第四反日運動から漸次共產的色彩を帶びた運動に轉化しつゝある事等である。

○英支貿易前途

支那の平和が第一條件

ロンドン　十二月十三日（木）

北京イギリス公使館附商務官ハリー・ハルトン・フオックス（Harry Halton Fox）氏は今回支那の商工業狀態に關する報告（本年九月一日迄の分）を發表した。

氏は右報告中に於て「支那の內訌が鎭靜して今少しく永續的平和狀態に歸り且つよき政府が組織されるまでは英支貿易が著しく進展することは殆どあるまい。」と述べてゐる。又イギリス製造業者はこの際生產原價を最低限度まで切下げるべく大に努力するの要あることを強調してゐる。

○本誌定價一部金一圓（半ケ年＝廿六週分＝郵稅共金貳拾圓）　發行所　大阪市東區北濱五丁目十二番地　新聞聯合社大阪支社　電話本局二二〇〇番三八四〇番　振替貯金口座大阪六八〇〇〇番　編輯發行兼印刷人　川嘉一

東京商工會議所　16665